

大垣市環境市民会議

NEWS 18 号

暦は、春から新緑へと季節が移っていく時節を迎えています。日々の天候は少し不順の様子で、地球温暖化との関連が気になります。

環境市民会議の会員みなさん、17年度の活動にご協力をいただきありがとうございました。忘れたころの発刊になってしまう環境市民会議NEWSで、申しわけありません。今回は、第6回市民環境フェスティバルの報告と17年度の活動ダイジェストとしてまとめました。第6回市民環境フェスティバルは、会員みなさんの多大なご協力を得て、過去5回の開催から色々な面で前進したものにできたと自負しています。今後も、さらにより良いフェスティバル、そして活動を進めていけますよう、みなさんご意見がいただけたらうれしく思います。

第6回市民環境フェスティバル報告

日時 平成18年3月11(土)・12(日)
場所 大垣城ホール
テーマ ~暮らしを変えて未来に夢を~
サブテーマ「もったいない 続けて広げて
エコライフ」

モリゾーとキッコロもフェスティバルを応援



市民環境賞表彰者

個人部門 伊藤千八子/団体部門 特定非営利活動法人 まち創り・花のひろば 鳥里・日本野鳥の会西濃ブロック/事業者部門 大垣信用金庫

参加企業・団体など 52 小中学校など学習展示参加 8校 小中高校学習発表 6校

児童生徒作品展示 絵画 11点 作文 7点 俳句 703点

参加型企画に力をいれてみました・・・

サイエンスワールド環境エネルギー教室・よく

飛びすぎる紙飛行機づくり・牛乳パックで作るおもちゃ・セロハンアート・化石の輪投げコーナー・ハリヨ見学会・ホテルの幼虫放流体験・樹木剪定講習会など

「もったいない」暮らしにいかすコーナー
おもちゃの修理・包丁とぎ講習・鍋のフッ素樹脂加工再生・リサイクル家具販売と家具の簡単修理相談コーナーなど

地産地消の販売 野菜・味噌・お豆腐・おからドーナツなど

「レジ袋の植樹祭」 レジ袋を断ってポイントを貯めた参加者のべ 500名ほどのうち、約100名が大島堤防で、グループなどで参加されたみなさんは、大垣公園・興文中学校・西小学校・北中学校にそれぞれ植樹。全部で140本の苗木を植えました。「花が咲くのが楽しみです・・・」

環境フェスティバル恒例 環境鍋・オリジナルマイバック作成など

大島堤防植樹の様子



新企画がたくさんあって、来場者の波が途絶えることがなかった、第6回市民環境フェスティバルでした。そして、会場設営や撤去をはじめとして、それぞれの場面で一生懸命お手伝いいただいた会員の皆さん、フェスティバルボランティアの皆さんに心より感謝します。来場されたみなさんにも、そして私たちスタッフにも、実りあるフェスティバルとなりました。ありがとうございました。

大垣城ホール 会場後片付けの様子



平成 17 年度活動報告ダイジェスト

市民会議活動部会

・**レジ袋ないないプロジェクト** 毎月第 2 土曜日「レジ袋ないないデー」・平成 17 年 10 月 1 日より「あなたも緑のオーナーに」企画を開始、参加協力店舗 15 店 平成 18 年 2 月 15 日までのカード返却枚数およそ 530 枚参加延べ人数約 500 名。桜の苗木など 140 本を植樹。18 年度分で既に 200 枚近いカードが集まっています。

・**環境まるごと探検隊** 23 組の親子(41 人)が気づく」ことを大切にしたプログラムを体験しました。今後、学校等での学習でこの体験が知識・知恵として裏打ちされ、環境学習の担い手となってくれそうです。18 年度は、3 人の中学生がジュニアスタッフとして名乗りを上げてくれています。頼もしい限りです。

環境まるごと探検隊員 修了証

八幡神社の湧き出る水、魚を捕まえに入った杭瀬川、乗鞍の漆黒の夜の霧の切れ目の星空、ヒノキの香り立つ枝打ち、世界の水事情、地産地消ご飯。観て、聞いて、嗅いで、味わって、触って、水・自然の大切さを感じたあなたは立派な環境探検隊員です。

・**水門川いきいき** 毎月第 4 木曜に定例会議 11 回、水門川の水質調査 7 回実施、河川健康診断員制度の検討など、湧くわく水サミット参加。水質検査は流速計を使用して水量を正確に計りましたので、より正確な汚染源を突き止められると思います。水質を監視し汚染の原因を突き止めその方策を打ち出せる人材を養成する『川の健康診断員制度』のカリキュラムも出来上がりました。18 年度は本格的に講習を始めたいと思います。新しい会員の参加をお待ちしています。

・**有機農業プロジェクト** 毎週土曜日、津村町地内の市民菜園で、有機農業の学習と協働作業による作物の育成と収穫をしています。

少人数ながら、大変熱心な参加者が多く、松岡幸一先生の自然農法についての長年の博識と情熱が、成果を生んでいます。天候の不順で作業が予定どおりにいかない苦労も多かったと聞きますが、本来農作業は、自然相手の仕事であるという原点がここに 있습니다。自分で食すものを自分の手で作る、ということがほとんど不可能に近い私たちの暮らしの中で、それはもしかしたら今最も贅沢なこと

なのかもしれません。

・**人材バンク登録** 西部中 2 年生 8 クラスで、水 をテーマにした環境学習を実施・北中成人学級 環境にやさしい暮らし、心に優しい暮らし のテーマで講演。小中学校での環境学習の機会は増えています。専門的な情報を伝えることよりも、先生や子どもたちとのふれあいを土台において、同じ目線で暮らしの中の環境問題とそれを自分たちで改善していけるヒントを考える授業を目指しています。

事業者部会

6 回の部会開催(うち 1 回は、宿泊研修)・河川クリーン作戦、水門川クリーン作戦など参加・市民環境フェスティバル参加。ISO の取得についての研修会、事業者間の情報交換、市民環境フェスティバルへの参加など、大変積極的に活動されました。17 年度から本格的に始動した事業者部会ですが、今後は登録事業者の部門を広げて、色々な分野を横つなぎで連携していけるような活動になるといいと思います。

団体部会

毎月一回の定例会議で、各団体の活動報告と情報交換・第 2 回「湧くわく水サミット」に関連の団体参加・市民環境フェスティバル参加・「はりんこ」を市の魚に認定要望を市に申請する予定です。

大垣市環境市民会議 NEWS

第 18 号

発行日 平成 18 年 4 月 24 日

編集者 事務局

発行者 大垣市環境市民会議

【大垣市環境市民会議事務局】

エコステージおおがき

〒503-0911 大垣市室本町 3 丁目 4 番地

TEL & FAX

(0584) 82-1761

Mail eco-sta@smile.ocn.ne.jp

〒503-8601 大垣市丸の内 2 丁目 29 番地

大垣市生活環境部環境衛生課環境管理係

TEL (0584)81-4111 FAX (0584)81-3347

Mail kankyouseika@city.ogaki.gifu.jp



環境市民会議シンボルマーク

マーク全体で O G A K I の頭文字「O」を表し、中央部の曲線は水の流れを示しています。

また、同時に水色の部分で水都・ハリんこを、緑色の部分で木々・ホテルをシンボライズしました。